

瑞浪北中学校敷地造成工事現場（岐阜県瑞浪市土岐町）の下部中新統瑞浪層群明世層から産出した貝類化石

安藤佑介*・糸魚川淳二**

*瑞浪市化石博物館・**瑞浪市日吉町

Molluscan fossils from the lower Miocene Akeyo Formation of the Mizunami Group at the construction site of Mizunami-Kita Junior High School in Mizunami City, Gifu Prefecture.

Yusuke Ando* and Junji Itoigawa**

*Mizunami Fossil Museum, 1-47, Yamanouchi, Akeyo-cho, Mizunami City 509-6132 (tyyu-destiny53@hotmail.co.jp); **5125-4, Hiyoshi-cho, Mizunami City 509-6251

Key words: *Crenomytilus grayanus*, Early Miocene, Mizunami Group, Gifu

2016年9月から2017年6月にかけて、瑞浪市土岐町の瑞浪北中学校敷地造成工事現場内に瑞浪層群明世層戸狩部層上部から山野内部層中部に相当する露頭が広く露出した（図1, 2）。調査の結果、貝類や鯨類など多くの化石が産出したが（安藤, 2018 など）、特に戸狩部層と山野内部層の境界から上位30 cmの層準からは、*Crenomytilus grayanus*（エゾイガイ）が卓越し、*Chlamys iwamurensis*（イワムラニシキ）や*Pododesmus macroschisma*（ナミマガシワモドキ）などの付着性貝類が約15m²の範囲でレンズ状に密集して産出した（図3, 4）。瑞浪層群からは、これまでに多くの貝類化石やその群集が報告されているが（糸魚川ほか, 1974）、*C. grayanus*の卓越や付着性貝類のまとまった産出は初である。

謝辞

楓 達也氏（瑞浪市日吉町）、瑞浪市教育委員会学校統合推進室、瑞浪市建設部都市計画課、市川・今井特定建設工事共同企業体の方々には現地調査および標本採取の際にご協力いただいた。ここに記し、感謝申し上げる。

文献

- 安藤佑介, 2018. 瑞浪北中学校敷地造成工事現場で観察された中新統瑞浪層群の露頭. 瑞浪市化石博物館研究報告, (44), 特別号, 1–11.
- 糸魚川淳二・柴田 博・西本博行, 1974. 瑞浪層群の貝類化石. 瑞浪市化石博物館研究報告, (1), 43–204.
- 安藤佑介は研究計画の立案, 野外調査, 標本採取, 同定, 本文執筆, 図版作成を担当。糸魚川淳二は, 研究計画立案時の相談, 野外調査補助, 野外での議論, 同定, 内容の議論, 本文執筆時のアドバイスを担当。

(2018年4月13日受付, 2018年5月7日受理)



図1. 工事現場の航空写真。工事現場（中央付近の緯度と経度はそれぞれ北緯35°22'31", 東経137°15'09", 敷地面積は17178.8m²）の北西斜め上空からドローン（Phantom4 FC330, DJI社製）により撮影。青矢印は図2の撮影方向。



図2. *Crenomytilus grayanus*が産出した付近の露頭全景。赤矢印は図3の撮影地点。スケールは3 m。



図3. *Crenomytilus grayanus*の産状写真。赤点線は特に密集している部分。白い破片は全て *C. grayanus*の真珠層である。スケールは10 cm。

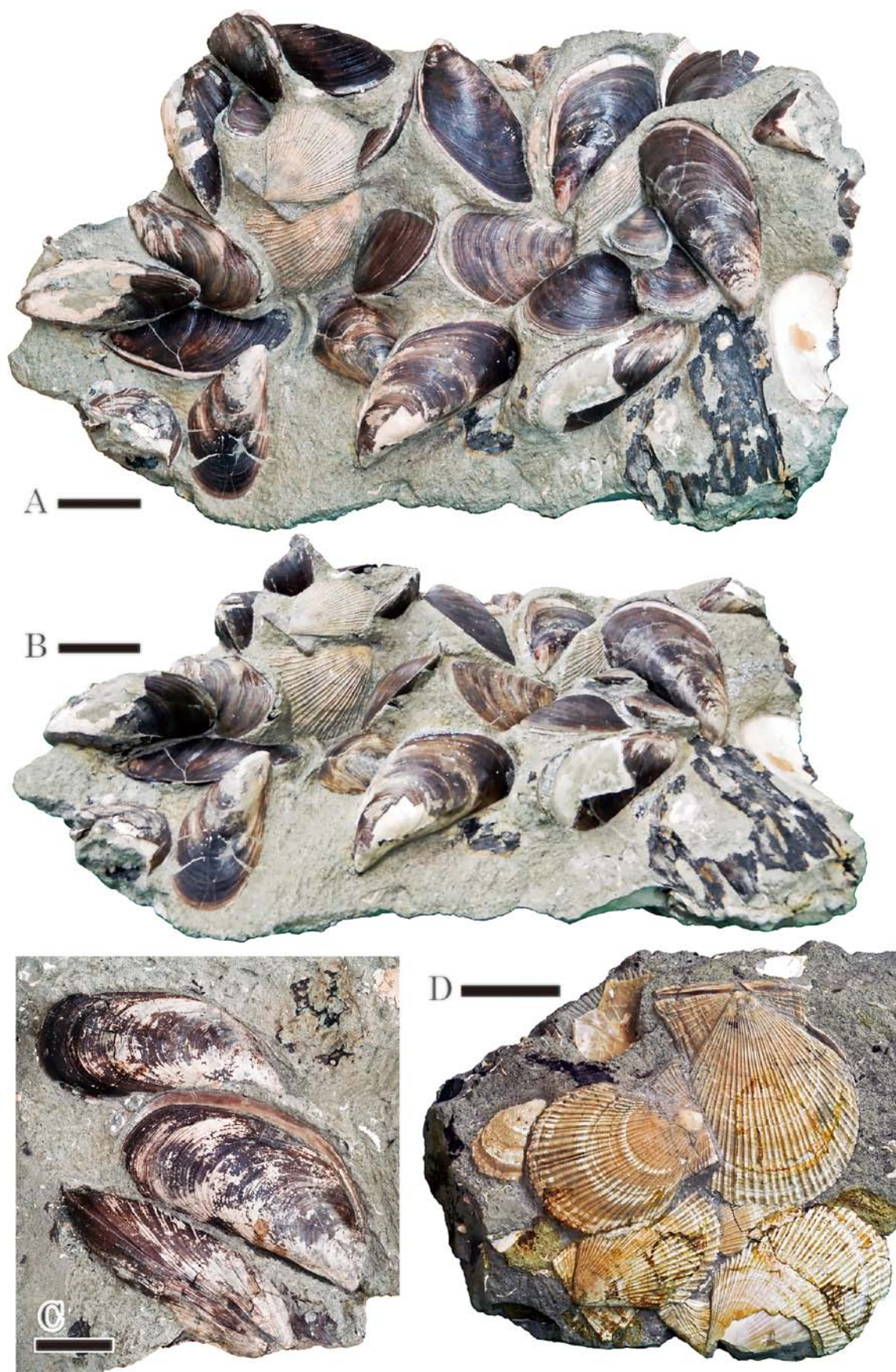


図4. 産出した主な貝類化石. A, B, *Crenomytilus grayanus*の密集標本(標本番号MFM16000). 横50 cm, 縦35 cmの範囲に *C. grayanus*が28個体含まれ, うち21個体は合弁である. C, *C. grayanus*の合弁3個体が密集する標本(標本番号MFM16021). D, *Chlamys iwamurensis*が密集する標本(標本番号MFM16022). スケールは5.0 cm.